

科目名	聴覚系の構造・機能・病態			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>聴覚系の抹消から中枢にいたる構造や神経機能、病態などを学ぶ。</p>							
<p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>基礎的学習として神経生理学を終えてから聴覚系の構造・機能とその病態と障害を学ぶ。</p>							
<p>[講師の実務経験]</p>							
<p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>本科目は言語聴覚の根幹を成すものであり、したがって学習者に相応の努力を(毎回の予習と復習)が求められる。そのため授業への集中度をチェックする方策を導入する。</p>							
回数	講義内容						
1	神経系の構造						
2	シナプス伝達						
3	少数のニューロン回 反射						
4	運動系の統合機構						
5	外耳と中耳						
6	蝸牛 ①						
7	蝸牛 ②						
8	聴神経 ①						
9	聴神経 ②						
10	蝸牛の変換機構と興奮機構 ①						
11	蝸牛の変換機構と興奮機構 ②						
12	脳幹神経核						
13	聴覚皮質						
14	遠心路						
15	感音性難聴						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
なし・配布プリント							
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。</p>							